

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 12 月 10 日 (2020.12.10)

【公表番号】特表 2019-519137 (P2019-519137A)

【公表日】令和 1 年 7 月 4 日 (2019.7.4)

【年通号数】公開・登録公報 2019-026

【出願番号】特願 2018-557931 (P2018-557931)

【国際特許分類】

H 0 4 L 9/32 (2006.01)

G 0 6 F 21/64 (2013.01)

G 0 6 Q 20/38 (2012.01)

【F I】

H 0 4 L 9/00 6 7 5 Z

G 0 6 F 21/64

G 0 6 Q 20/38 3 1 0

H 0 4 L 9/00 6 7 5 B

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 10 月 29 日 (2020.10.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ブロックチェーンシステムの第 1 のエンティティが、前記第 1 のエンティティが所与のタスクを実行するために選択されていることを、前記ブロックチェーンシステムに関連付けられた他のエンティティに対して証明することを可能にする方法であって、

第 1 の暗号化手順に従って、ブロックチェーンの既存のブロックのシーケンスに基づいて最初のストリングを生成することと、

秘密暗号鍵を用いて、前記最初のストリングに一意に関連付けられている証明のストリングを計算することと、

第 2 の暗号化手順に従って、前記証明のストリングに基づいて数量を決定することと、前記数量が所与の閾値を満たすかを判定することと、

前記判定に応答して、前記証明のストリングを前記ブロックチェーンに伝播させることと、を含む方法。

【請求項 2】

前記第 1 のエンティティは潜在的なブロック提案者を含み、前記タスクは、前記ブロックチェーンに追加される新しいブロックを提案することを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記第 1 のエンティティは、前記ブロックチェーンに追加される前記提案された新しいブロックとともに、前記証明のストリングを伝播させる、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記第 1 のエンティティは、潜在的な検証者を含み、前記タスクは、前記ブロックチェーンに投稿される情報の一部が正しいことを検証することを含む、請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 5】

前記ブロックチェーンに投稿される前記情報の一部は、前記ブロックチェーンに追加さ

れる新しいブロックを含む、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記潜在的な検証者は、前記証明のストリングを、その検証の結果とともに伝播させる、請求項 4 又は 5 に記載の方法。

【請求項 7】

前記第 1 のエンティティは潜在的な検証者を含み、前記タスクは、一組のトランザクションを正しく処理すること、を含む、請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 8】

前記トランザクションは、前記ブロックチェーンに投稿される提案されたトランザクションのブロックの一部である、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記潜在的な検証者は、前記証明のストリングを、その検証の結果とともに伝播させる、請求項 7 又は 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記証明のストリングはデジタル署名を含む、請求項 1 乃至 9 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 11】

前記証明のストリングは、前記ブロックチェーンに関連付けられた他のエンティティによって検証可能であり、前記秘密暗号鍵は前記他のエンティティには利用できない、請求項 1 乃至 10 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 12】

前記第 1 の暗号化手順は、前記ブロックチェーンの前記既存のブロックのシーケンスの過去の最初のストリングに基づいて定義されたランダムな数量を決定することを含む、請求項 1 乃至 11 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 13】

前記第 2 の暗号化手順はランダムオラクルを含む、請求項 1 乃至 12 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 14】

前記第 2 の暗号化手順は暗号学的ハッシュ関数を含む、請求項 1 乃至 13 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 15】

前記数量が所与の閾値を満たすかを判定することは、前記数量が前記所与の閾値よりも小さいかを判定することを含む、請求項 1 乃至 14 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 16】

請求項 1 乃至 15 のいずれか 1 項に記載の方法を実施する実行可能コードを含む、コンピュータソフトウェア。

【請求項 17】

ブロックチェーンシステムの第 1 のエンティティが、前記第 1 のエンティティが所与のタスクを実行するために選択されていることを、前記ブロックチェーンシステムに関連付けられた他のエンティティに対して証明することを可能にするシステムであって、

第 1 の暗号化手順に従って、ブロックチェーンの既存のブロックのシーケンスに基づいて最初のストリングを生成する手段と、

秘密暗号鍵を用いて、前記最初のストリングに一意に関連付けられている証明のストリングを計算する手段と、

第 2 の暗号化手順に従って、前記証明のストリングに基づいて数量を決定する手段と、

前記数量が所与の閾値を満たすかを判定する手段と、

前記判定に応答して、前記証明のストリングを前記ブロックチェーンに伝播させる手段と、を備えるシステム。